

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

ミッション

働く女性を最高水準のエデュケアと介護サービスで支援する

管理職女性比率
76.6%取締役女性比率
30.8%保育・学童施設数
325ヵ所研修参加者数
93000人以上

② 中長期の経営戦略

1. ファミリーケア事業拡充

ナニー・ベビーシッター・シルバーケアサービスの採用強化と品質管理体制を強化。第3採用拠点開設でベビーシッター供給力を拡大

3. プロフェッショナル事業の多角化

保育研修のシェア維持防衛に加え、学童保育研修と育児・介護コンサルティング事業で民需向けサービスを拡大

2. エデュケア事業の質向上

2026年12月期に保育所11施設開設（認可保育所2、学童クラブ8など）と10施設の適正クローズでポートフォリオ最適化

4. ライフステージ支援の充実

子育て・介護・家事支援・妊活・ペットケアで、働く女性の生涯をサポートするソリューション提供

③ 対処すべき課題

① 少子高齢化への対応

- ・出生数過去最低更新で人手不足が全産業共通課題に。働き方改革が経営戦略化
- ・団塊世代全員が75歳以上になり、自費介護サービスニーズが本格高まり中

② 保育・学童の待機児童問題

- ・保育待機児童は概ね解消も、質的向上が課題に転換
- ・待機学童は1万6,330人と高止まり。保育環境整備と質向上が急務

③ 人財確保・育成の強化

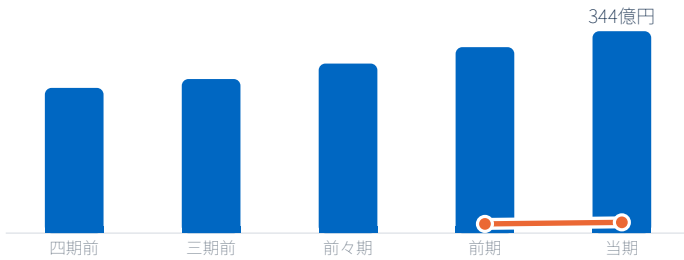
- ・施設数増加でも保育士・ナニー・介護スタッフの質維持が必須
- ・地方採用強化（2025年12月末369件の借上社宅）と大卒保育士初任給業界最高水準で対応

面接で使えるポイント

- ・2013年時点2,411万人だった女性雇用者数が2025年2,879万人まで約1.2倍に増加する中…
- ・ハーバード大学・スタンフォード大学・ノーランドカレッジなど国内外名門教育機関と共同研究で世界最先端教育科学を保育に導入
- ・2026年『ベビーシッター元年』に向けた第3採用拠点開設やシルバーケア営業強化で…

証券コード 7358

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
344億円営業利益率
5.3%財務健康度
58点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 59.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
807万円

サービス業内 62位/524社

平均年齢
45.7歳

サービス業内 57位/527社

平均勤続
4.3年

サービス業内 377位/527社

女性管理職
42.9%

サービス業内 44位/371社

男性育休
0.0%

サービス業内 306位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ポピンズが運営する全国325か所の保育・学童施設に、株式会社

